

東白川村 美しい村づくり 委員会

第 12 回

- 場所：神土ふれあいサロン
- 時期：平成 29 年 3 月 14 日 19:00~21:00
- 参加者：16名

【奥矢作森林塾視察】

〈ふりかえり〉

視察の報告書を配布し、それを参照しながら、視察の内容を説明した後、参加者の感想を発表しました。今後、奥矢作森林塾とは交流を続けていこうと、意見が一致しました。

振り返りの中で、出てきた話題について、下記に記します。

(意見)

- ・ 視察先の活動が東白川村に当てはまらないのでは・・・
 - 地域の「機」を的確に捉える重要性
 - ・ NPO とは、どうあるべきか。事業系と福祉系。
 - Q:青空見聞塾の状態は？
 - A:自走の観点からみると厳しい状態が続いている。
 - ・ 成果の要因は、ハード？仕組み？
 - 今後の交流で解き明かしていく。
 - ・ 住民の意識とは、どういうものなのか。
 - Q:住民が「何を望んでいるのか？何がしたいのか？」を知る術は・・・
 - A：平成 29 年度に住民アンケートを実施予定。(参事)
 - Q:委員会も住民アンケートに関わっていきたい。(委員)
 - A:委員会と行政総合計画としっかりリンクしていく。(行政)
- ◇住民の危機感をどう捉えるべきか。住民の地域活動のエネルギーとなるのか。危機とは？

- ・地域のジェンダーについて（社会的男性性と女性性）
 - 東白川村は恵那市や都市部と比べ、女性の社会的立ち位置が「男性を支える」面が色濃く感じる。
 - 都市部は女性の活躍の場があり、女性そのものが元気である。
- ・東白川村移住者への質問。
 - Q:村を選んだ理由は？村の魅力は？
 - A:「子供」「立地」「ご縁」「ピンときた」
- ・東白川村は立村以来、合併していない！それが資産であることが、視察研修で得共通認識となった。

【集落あるき】

〈大沢地区について〉

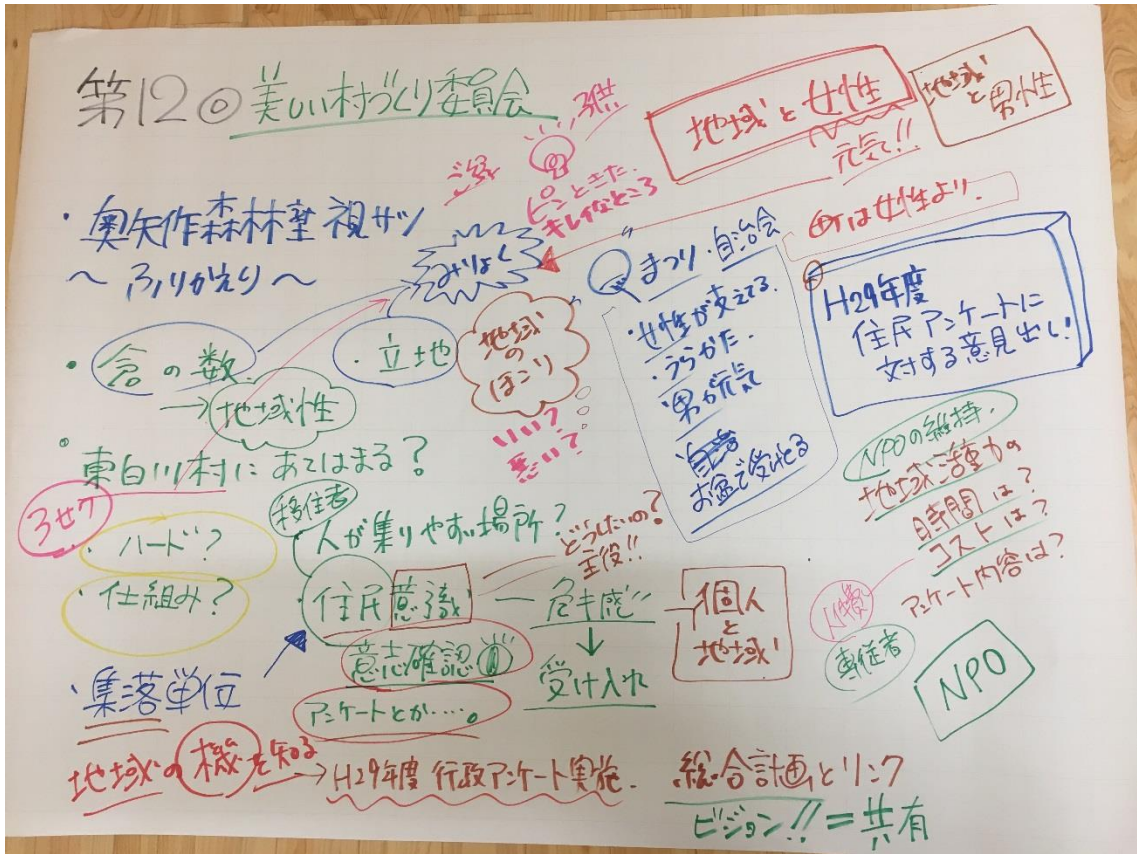
- ・参加者確認
- ・集合場所の確認
- ・案内者の紹介（今井政信さん）
- ・小中学生への案内方法について
 - プリント配布を小中学校へお願いすることとなったが、両校共に、インフルエンザが流行しており、外出自粛の方針をうたっていた為小中学生への案内を今回は見合わせた。

【ソーラーパネル】

◇委員の方から、「ソーラーパネル設置による、景観への影響についてお話ししたい。」と提案が出ましたので、意見交換が行なわれました。

(意見)

- ・ソーラーパネル設置数は今後、増加していかない。(仕組み的に)
- ・美しい景観とは？
- ・生活圏内にソーラーパネルが有ると、移住希望者は移住候補地から落とす傾向がほぼ100%である。



ファシリテーショングラフィック

